

ICT 通信

R5. 5. 24
No. 3

利尻中学校の英語科教育 ～1年生の授業風景～

デジタル教科書:音読・聞く・文法理解

TV 画面に映し出されるデジタル教科書。このおかげで、文法事項を動画で復習することができ、意味や用法に関する理解を深めることにつながっています。音読では、教師による解説や読みの後で、隣の生徒とペアになって一緒に音読練習します。何度も音読することで、記憶の定着がしやすくなります。また、デジタル教科書を使って、リスニングチェックを行うこともあります。はじめはゆっくり、少しずつ速く…。何度も耳に入れ、英語のスピードに慣れていきます。



クイズレット:単語確認・復習

単語や熟語の確認では、クイズレットという単語学習アプリを活用することがあります。教科書の新出単語や熟語を、個人で確認したり、グループで競い合いあったりしながら学習しています。

生徒たちは「英語はアクティビティが多くて楽しい。」と、主体的に英単語を学んでいます。ICT 活用によって、生徒たちの集中力が 100%に引き上げられています。



デジタルとアナログ

英語科教育が扱う領域は、「聞く」、「話す(発表)」「話す(やりとり)」「読む」「書く」の5つに分けられます。

ICT 活用だけでは、おそろかになってしまいがちな領域が「書くこと」。利尻中学校では、英単語の確認テストや単元テストを定期的に行ったり、英語学習が定着することを目的とした、「家庭学習シール」の取り組みを行ったりしています。ICT 活用のデジタルと従来型のアナログの両面から、確かな英語力を身につけさせていきます。



3 年生対象 全国学力・学習状況調査 英語「話すこと」 5/19
詳細は利尻中学校 HP「利中日記」(0519 全国学力・学習状況調査(英語・話すこと))に紹介されています。